

TAKATORI IR REPORT

第56期 株主通信

平成23年10月1日～平成24年9月30日



株式会社タカトリ
Global Innovation "Plus One"

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。平成23年度は東日本大震災・欧州債務危機と激動の一年であり、平成24年度は国内の復興活動が行われる中、世界経済の低迷による長引く円高により、日本経済の停滞が続く厳しい年となりました。

このような経済環境の下、当期の売上高は業績予想を上回ることができましたが、損益面につきましては、特別損失として関係会社株式評価損及び事業構造改革費用を計上したことにより予想を下回り、当期純損失を出す結果となりました。

この状況を真に受け止め、来期におきましては、新工場の完成とともに増産体制の構築並びに高精度・高剛性及び高量産性のニーズに対応した大型重量製品に対する生産体制を構築し、製品品質の向上・作業安全性の向上に努めてまいります。また、新材料に対応した技術開発に積極的に取り組み、売上・収益の向上を目標に安定的な経営体制の確立を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 高鳥王昌



代表取締役社長 北村吉郎

— 新任社長ご挨拶 —

平成24年10月1日をもちまして、代表取締役社長に就任いたしました北村吉郎でございます。誌面をお借りして株主の皆様にご挨拶申し上げます。

新経営体制の下、高鳥会長とともに二人三脚で更なる会社の成長を目指すとともに、役員・社員が一丸となり会社の発展に全力を注いでまいりますので、株主の皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

社是

創造と開拓

企業理念

「世界に誇れる独自技術を製販一体となって構築し、最良の製品とサービスを提供し、人々の暮らしを豊かにする」

1. 企業は『社会の公器』であることをまず認識し、社会と全ての協力者との相互繁栄を期そう
2. 物事の判断・実行は、お客様とタカトリのメリット・デメリットを十分検討したうえで進めよう
3. 自分の意見は、会社組織の上下関係にとらわれずはっきり発言すると共に、何でも話し合える輪を作ろう

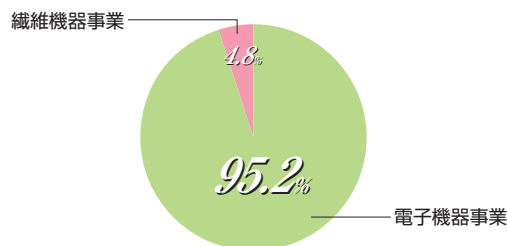
当事業年度における世界経済は、米国では景気回復は穏やかであったものの、雇用問題解決への足取りは弱く景気後退の懸念が残る状況となりました。また、欧州では長期化している債務危機に対する支援が行われているものの、依然として先行き不透明感が残っている状況であり、新興国においても欧州債務危機による景気減速の影響が出ており、世界経済は全体的に下振れリスクを拭い去れない状況が続きました。

一方、国内経済においては、東日本大震災の復興需要を背景に回復基調にありつつも、欧州債務危機の影響を受け、慢性的な円高により企業収益が低下するなど厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界においては、薄型テレビ等のデジタル家電製品の需要が減少し厳しい状況が続いておりますが、スマートフォン（高機能携帯電話）等の携帯関連製品の需要は堅調に推移しております。また、LED関連製品においては、前期の大幅な需要から当期は落ち着いた状況で推移いたしました。

このような状況の中、電子機器事業は堅調に推移し、繊維機器事業は若干の増加で推移いたしました。

■ 売上高構成比



電子機器事業

液晶製造機器

液晶製造機器では、スマートフォン（高機能携帯電話）やタブレットパソコン等の高機能携帯端末市場の拡大が続いていることから、海外の大手液晶パネルメーカーやEMSメーカー向けの小型液晶パネル用高速偏光板貼り付け機及びその周辺機器の需要が堅調に推移いたしました。また、国内のタッチパネルメーカーからタッチパネル貼り合せ機の受注を獲得したことが多く寄与し、販売額は増加いたしました。



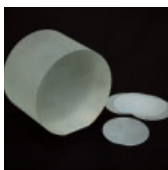
半導体製造機器

半導体製造機器では、スマートフォン（高機能携帯電話）等の高機能携帯端末市場の拡大を背景に、液晶パネルバックライト用LEDメーカーや、米国のチップメーカー向け等の装置販売が堅調に維持したほか、省エネルギーで注目を集めているパワー半導体メーカーからの装置需要についても堅調に推移いたしました。また、国内の電子部品メーカー向けの装置販売等が寄与し、販売額は増加いたしました。



MWS（マルチワイヤーソー）

MWS（マルチワイヤーソー）では、LED関連製品のサファイア市場において、前期からの装置需要が特に当季前半まで続いたことから堅調に推移し、主に中国での設備投資が牽引したことが装置販売に寄与いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。



繊維機器事業

アパレル業界においては、国内企業の海外生産移管が進み海外工場への投資が見込まれましたが、設備投資には至らず、国内市場における回復の兆しは見えずあるものの低調に推移いたしました。また、海外市場において、欧州債務危機等により市場が冷え込み、消費低迷の影響により欧州の衣料の生産諸国であるアジアでの設備投資が伸びず停滞感が見られました。

このような状況の中、販売額は若干増加いたしました。



貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成24年9月30日現在)	前期 (平成23年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	6,749,224	7,796,539
固定資産	2,271,502	2,692,256
有形固定資産	1,754,651	1,741,183
無形固定資産	18,018	22,948
投資その他の資産	498,832	928,125
資産合計	9,020,726	10,488,796

科目	当期 (平成24年9月30日現在)	前期 (平成23年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	3,837,536	4,264,906
固定負債	529,119	555,027
負債合計	4,366,655	4,819,933
純資産の部		
株主資本	4,652,010	5,663,960
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,353,741	3,365,664
自己株式	△17,283	△17,255
評価・換算差額等	2,061	4,902
純資産合計	4,654,071	5,668,862
負債純資産合計	9,020,726	10,488,796

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで)	前期 (平成22年10月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高	8,338,035	8,524,350
売上原価	6,318,907	6,309,103
売上総利益	2,019,128	2,215,246
販売費及び一般管理費	1,708,125	1,532,375
営業利益	311,002	682,870
営業外収益	82,301	113,312
営業外費用	8,381	19,356
経常利益	384,921	776,826
特別利益	899	790
特別損失	1,440,329	34,166
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△1,054,507	743,450
法人税、住民税及び事業税	37,800	351,786
法人税等調整額	△214,169	△66,368
当期純利益又は当期純損失(△)	△878,138	458,031

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで)	前期 (平成22年10月1日から 平成23年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	891,981	△152,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	257,509	△523,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	610,460	682,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△6,185
現金及び現金同等物の増加額	1,759,948	349
現金及び現金同等物の期首残高	650,874	650,525
現金及び現金同等物の期末残高	2,410,823	650,874

地域貢献活動

★ 平成24年8月 厚生労働大臣感謝状を拝受

「奈良県献血功績者表彰式」において、滋賀県で開催された「第48回献血運動推進全国大会」で贈呈された厚生労働大臣表彰状・感謝状の伝達が行われました。

当社は、献血事業の推進に積極的に取り組み、模範となる実績を示したとして厚生労働大臣感謝状を拝受しました。

ニュースリリース

★ 徳島研究所を開設

徳島県が推進するLEDバレイ構想に参画し、徳島県工業技術センターが所管する産業技術共同研究センター内に徳島研究所を開設しました。

今後、幅広い産業での用途拡大が期待できるLEDのプロセス設備の開発、LEDを活用した新規産業の創出を目指しています。

～本社営業部員兼徳島研究所研究員・前田氏～
新しいことにどんどんチャレンジしていきます!!



ピックアップ情報

★ 平成24年5月 中小企業庁主催の“小さな企業”未来会議に、取締役営業本部長の増田 誠が参加し、県内を代表して、今後期待する産業政策について意見発表をしました。

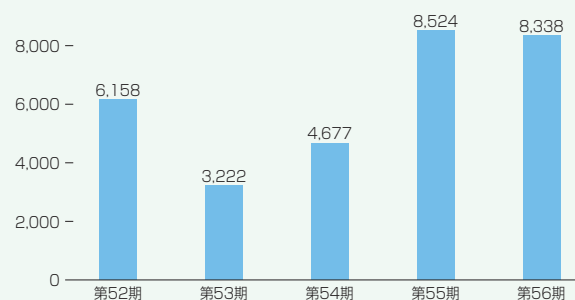
★ 平成24年6月 非営利活動法人LED照明推進協議会 (JLEDS) に入会しました。

～“小さな企業”未来会議の様子～



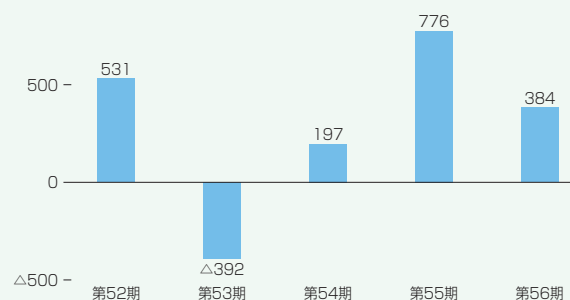
売上高

(単位：百万円)
10,000 -



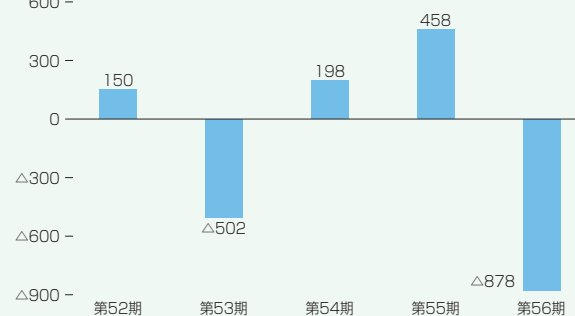
経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)
1,000 -



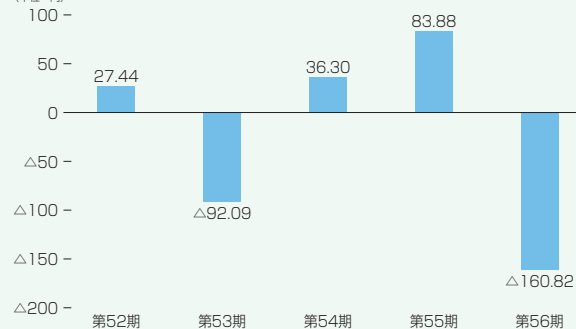
当期純利益又は当期純損失 (△)

(単位：百万円)
600 -



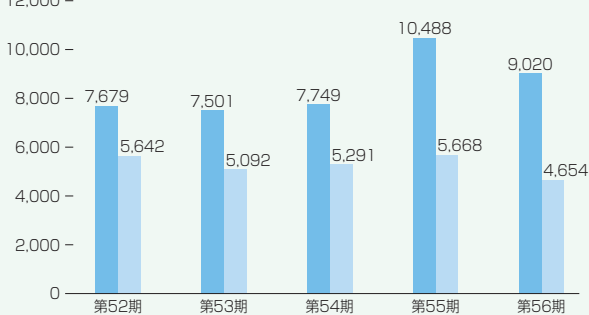
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)

(単位：円)



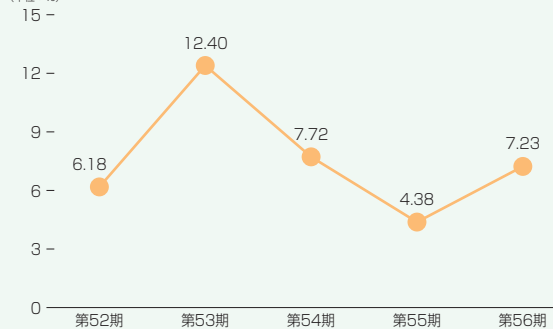
総資産／純資産

(単位：百万円)
12,000 -



売上高研究開発費比率

(単位：%)

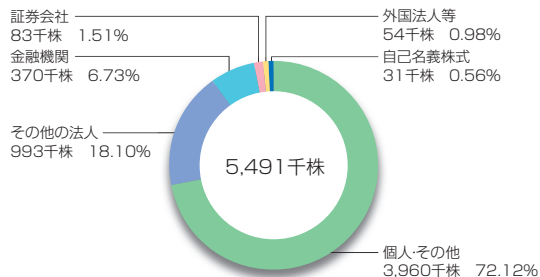


株式の状況 (平成24年9月30日現在)

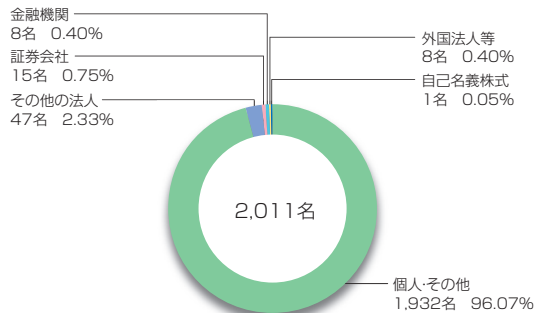
- 発行可能株式総数 17,000,000株
- 発行済株式の総数 5,491,490株
- 株主数 2,011名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(有) コトブキ産業	379,844	6.91
高鳥王昌	354,800	6.46
タカトリ共栄会	319,800	5.82
大阪中小企業投資育成(株)	187,250	3.40
タカトリ従業員持株会	165,232	3.00
井上久雄	128,000	2.33
高鳥政廣	113,825	2.07
西村幸子	103,500	1.88
伊藤忠マシントクノス(株)	100,000	1.82
(株)南都銀行	95,000	1.72

所有者別株式数分布状況



所有者別株主数分布状況



会社概要 (平成24年9月30日現在)

- 商号 株式会社タカトリ
- 本社 奈良県橿原市新堂町313番地の1
TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
- 関連会社
 - 株式会社エムテーシー
埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-779-4
 - ウィンテスト株式会社
神奈川県横浜市西区平沼1丁目2-24
- 営業所 九州営業所 熊本県合志市幾久富1909-539
- 設立 昭和31年10月
- 資本金 963,230千円
- 代表者 代表取締役会長 高鳥 王昌
- 従業員 206名(顧問・囑託・パートタイマー除く)
- 事業内容 電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機器の製造及び販売

役員 (平成24年12月21日現在)

- 代表取締役会長 高鳥 王昌
- 代表取締役社長 北村 吉郎
- 取締役 松田 武晴
- 取締役 大西 正純
- 取締役 出口 昌道
- 取締役 増田 誠
- 常勤監査役 雁野 良博
- 監査役 山田 磯子
- 監査役 大西 大介

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月下旬
基準日	定時株主総会 9月30日 剰余金の配当 期末9月30日 中間3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 当社ホームページ (http://www.takatori-g.co.jp)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.takatori-g.co.jp>



株式会社タカトリ
Global Innovation "Plus One"

奈良県橿原市新堂町313番地の1